

廃棄 T シャツをアップサイクルする体験型ワークショップ

【メンバー】

経営学部 4 年（代表）、工学部 4 年

【指導教員】

忽那憲治

【活動内容】

- ・「廃棄 T シャツをアップサイクルする体験型ワークショップ」を 078K0BE(開催日：11 月 26, 27 日)のイベント会場にて実施した。結果として、70 枚以上の廃棄アパレルを削減することともに、70 人以上のお客さんに価値提供(体験価値、社会貢献価値、機能価値)を提供することに成功した。
- ・本プロジェクトの概要は、078kobe の在庫(廃棄となる可能性有)T シャツに、イベント来場者が自分で 2022 年のロゴデザインをプリントすることで最新 T シャツへとアップサイクルするワークショップである。
- ・POC については、廃棄アパレルという社会課題の解決に向けて、「利用者が服を大切に長く着る」、「利用者の意識改善(エシカル消費の推進)」つのアプローチについて仮説を設定した。仮説①「廃棄アパレルの購入を経験することで、廃棄アパレルについて認知・関心が高まる。」、仮説②「自分が体験して作った服には特別感を感じる。」の 2 つである。検証方法は、アンケート、クイズの正答率により検証した。
- ・仮説検証の結果、仮説①について、本ワークショップを経験してのサステナブルファッションについてのアンケートにおいて、「認知が高まる」が 96.7%、「関心が高まる」が 96.7%回答しており、仮説が検証された。仮説②は、「自分が体験して作った服には特別感を感じる」という質問に対して 100%の回答があった。クイズの正答率もワークショップを通した廃棄アパレルの学習前後で、33%から 94%へと上昇した。よって、仮説②も検証された。